



> 園区内地理情報システム

## 全方位的施設管理と維持 施設・景観管理と維持

### 地理情報システム

2004年専門会社に委託し地理情報システム(GIS)を設置し、地下生活パイプライン情報検索システムやネット工事許可申請システムが完備されているほか、水道・消防タンク・道路灯など公共施設の維持管理システムも漸次IT化し、園区内の公共施設修理システム効率の引き上げを目指す。

### 場所管理と施設の共用

2004年漸次完成された道爺湖・霞客湖・西拉雅広場・迎曦湖と公三等の公園は従業員や近隣住民に憩いと運動の場を与えている。また、不定期に行われている文芸イベント・人材誘致イベント等に使われる。企業はイベント規模の大きさによって、適された公園広場を借用することができる。また、釣りに関する管理条約が制定され、従業員と一般民衆に釣りを開放し、多様性を持った休暇生活機能を提供している。

### 景観維持

2004年景観緑地維持範囲は、宿舍工場区域・西拉雅大通り・南科北路西側・大洲排水と排水コントロール区・璞馨公園・公十二・一期周辺緑地地帯・高架貯水タンク・バスケット・ソフトボール・コミュニティーセンター用地や行政センター臨時駐車場等である。花の開花時期や成長にあわせ、適切な管理維持を施す。



> 迎曦湖



> 璞馨公園



> 創新四館(第四期標準型工場)



> 二期管理者宿舍

## 借用管理

### 土地借用

台南園區總面積1,038ヘクタール、その中、公園と緑地地帯の面積246ヘクタールは総面積の24%を占める。公園緑地地帯や工業区域面積比率は1:2となっている。主要用地建蔽率は50%で、容積率200%となり、使用緊迫感中レベル、解放的な感覚を人々に与えていよう。

2004年末まで、台南園區一期土地の借用率95%に達し、二期は100%に達している、高雄園區は62%(借地予定を含む)に達している。

### 工場借用

園區創新一館・二館・三館・四館全143ユニットもの標準型工場、借用率63%に達している。

cGMP標準型バイオテクノロジー専用工場(創新四館)には全24ユニットあり、既に2004年5月に竣工されている。第五期標準型工場は60ユニット設置予定されており、2005年3月に竣工する。

高雄園區第一期標準型工場は全40ユニットあり、2004年8月末に竣工され、2004年末に既に4ブースが貸し出された。

標準型工場の維持には、専門的な修理維持チームと連絡ホットラインが設けられており、最速な修理維持サービスを心がけている。この他に、保安警備人員が常時巡回し、安全な環境提供を確保している。

### 宿舍借用

園区内には異なる需要に合わせて、VIP管理職用・家族・単身3種類の宿舍を完備している。内訳、「璞園」管理者宿舍25軒・「馨園」家族宿舍164軒・「華園」家族式宿舍14軒・「華園」単身宿舍875軒ある。

宿舍区域公共施設は広々緑地地帯が設けられ、各主要出入口には管理管制されており、一棟から二棟で保安警備員が1組配置され、安全維持を図っている。

## 洪水防止

台南園區では既に道爺湖・霞客湖・迎曦湖等3つの景観洪水防止池が設置されている。その中迎曦湖の流出量は完成後50年を一使用サイクルを基準として作られており、有効内容量は30萬立方メートル、集積区域は区内外の北三舎・南三舎等2つの集合近隣地域を含み、総集積量は約250ヘクタールであり、一度集積された水は支流を通じて迎曦湖に流れ、湖辺の洪水防止ポンプを使い、水を吸出し大洲排水溝に流す。ポンプ機械工場の用いている排水量は、土地開発前10年より大量にならない排水量を基準としており、最大排水量は20CMSとなっている。当該機械は専門員によって園区内排水溝排水状況の分析結果を基に、排水ピーク洪水警戒基準等を制定し、臨機応変に作業を進めている。

2004年西南部台風合わせて豪雨警報が計11回もあり、その中「ピクトリア台風」暴雨期は台湾各地に大きな災害を与えたが、園区内3基あるポンプの連続活動、総排水時間数33時間、総排水量65立方メートル、迎曦湖は完全に保水状態を保ち続け、有効に洪水防止の成果をもたらした。



> 洪水防止ポンプ機械工房